

ポスター発表最優秀症例報告賞 選考基準

*評価基準に準拠している程度を全く準拠していない(0点)～完全に準拠している(5点)で、各項目5点満点、計15点満点で評価する

- 全く準拠していない(0点)
- ほとんど準拠していない(1点)
- 少し準拠している(2点)
- ある程度は準拠している(3点)
- おおむね準拠している(4点)
- 完全に準拠している(5点)

① CARE ガイドライン等に準拠した報告の質 (5点)

評価基準

- ・ **タイトル**
症例報告、ケースレポートなどの言葉を最も関心のある事象(例:診断、検査、介入)と共にタイトルをつけているか。
- ・ **キーワード**
2～5語でその症例のキーとなる要素を表現しているか。
- ・ **アブストラクト**
(a)はじめに—このケースで新しく付け加わっている点
(b)患者の主な症状、主な臨床発見
(c)主となる診断と介入、結果
(d)結論—このケースから得られた主なる読者へのメッセージ
について明確に記載しているか。
- ・ **イントロダクション**
関連文献を引用しながら、この症例の背景を短く要約しているか。
- ・ **患者の情報**
(a)デモグラフィックな情報(年齢、性、人種、仕事など)
(b)患者の主な症状(主訴)
(c)医学、家族、心理社会的背景
(例:食生活、生活習慣、遺伝情報、過去の介入とアウトカム、関連する併存症)
について記載しているか。
- ・ **臨床検査結果**
関連する心理検査の結果について記載しているか。

- ・ **タイムライン**
このケースの重要な出来事の日時について記載しているか。
- ・ **診断的アセスメント**
 - (a)診断の方法（例：心理検査、臨床検査、画像、質問紙）
 - (b)診断での考慮事項（経済的、言語/文化的）
 - (c)考慮した他の診断を含めて、診断の根拠
 - (d)該当する場合は、予後の特徴(例：ステージなど)
について記載しているか。
- ・ **治療介入**
 - (a)介入の種類(例：薬理的、外科的、予防的、セルフケア)
 - (b)介入の実施(例：投与量、強度、期間)
 - (c)介入の変更(論理的根拠と共に)
について記載しているか。
- ・ **フォローアップと結果**
 - (a)フォローアップを含めた臨床経過の要約
 - (b)臨床家評定式アウトカムと患者評定式アウトカム
 - (c)重要なフォローアップテストの結果(ポジティブ／ネガティブを含めて)
 - (d)介入を阻害する有害事象や予測されなかった出来事
について記載されているか。
- ・ **討論**
 - (a)このケースのマネジメントの長所と限界
 - (b)関連する文献
 - (c)結論の論拠(因果関係のアセスメントを含めて)
 - (d)このケースレポートの読者へのメッセージ
について記載されているか。
- ・ **患者からの視点**
患者が可能な限り患者の視点や体験を共有しているか。
- ・ **インフォームドコンセント**
患者は同意しているか。請求があれば提供することが記載されているか。

② 方法論の適切性 (5点)

評価基準

- ・ 必要があれば視覚的な分析と統計的な分析の両方を用いており、従属変数のベースラインからの量的変化とトレンドの変化が記載されているか。
- ・ 臨床的重要性（日常の生活の中で適応的に行動している通常の人々と区別できない程度まで最終的に変化しているかを検討する）について記載されているか。

るか。

- ・ 最低でも3か月のフォローアップ期間が設けられているか。
- ・ 行動療法、認知行動療法として妥当であり、適切であるか。

③ 支援者・対象者の希少性・特異性・応用可能性・有用性、臨床上の工夫など (5点)

評価基準

- ・ 本症例は希少性があるか。
- ・ 一般化・応用可能性があるか。
- ・ 発表者の臨床上の工夫（オリジナリティ、リアリティ、具体性など）が記載されているか。
- ・ 同様の問題に直面する人（当事者）が読んでも利益を得ることができるか。